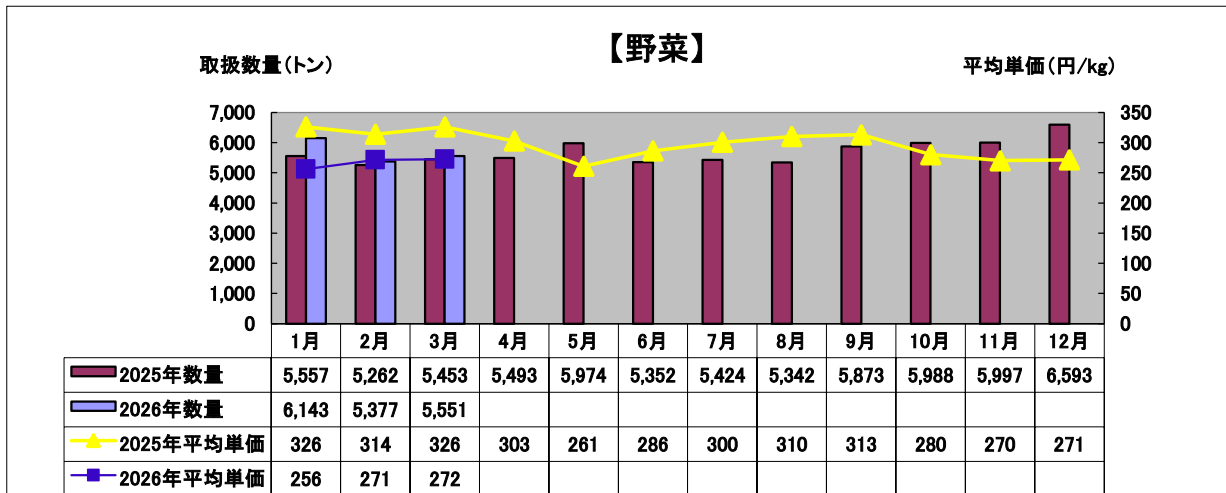
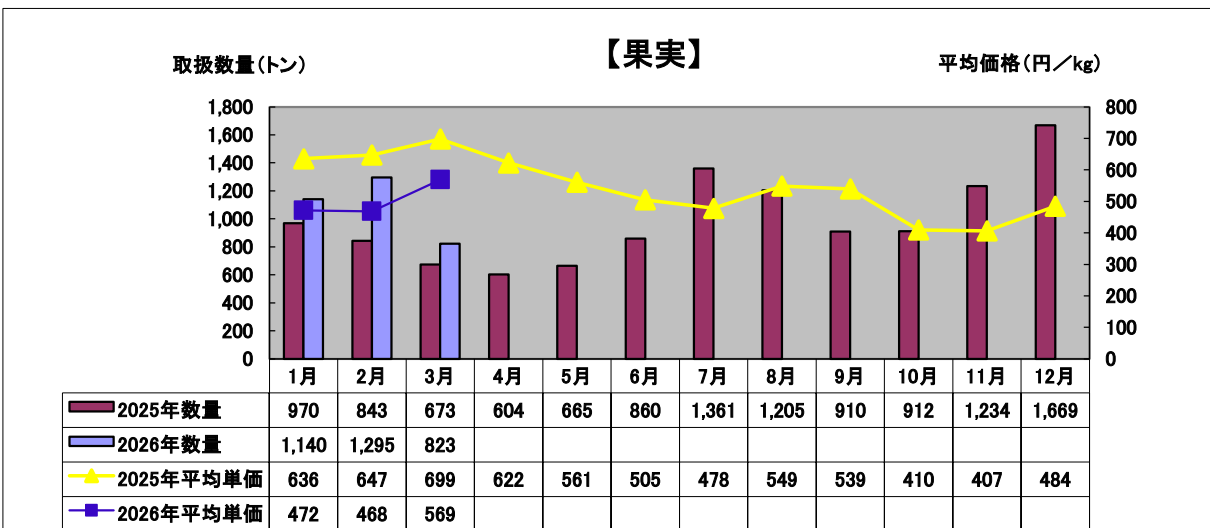


令和8年(2026年)3月 青果部種別市況



キャベツ・白菜・大根を中心とした重量野菜の潤沢な入荷や、物価上昇による消費の伸び悩みなどにより、単価は低迷しました。数量は平年並み、平均単価は安く推移しました。

前年比数量 102%、平均単価 83%で終了しました。



いよかん・ポンカン等の中柑橘類を中心に出荷が多くなりました。イチゴ、リンゴは入荷量減となった。平均単価は中柑橘類の影響で安く推移しました。

前年比数量 122%、平均単価 81%で終了しました。